

令和6年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

社会的養護

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、国内外の社会的養護の歴史に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1870年にカナダでバーナード (Bernard, T. J.) がバーナード・ホームを設立し、浮浪児等の保護を行った。
- B 1887年に石井十次が岡山孤児院の活動を始め、多くの孤児を保護した。
- C 1899年に留岡幸助が家庭学校を設立し、知的障害児の養育を行った。
- D 1909年にアメリカのルーズベルト (Roosevelt, T. D.) 大統領が開いた「子どもに関するホワイトハウス会議」で、子どもにとっての家庭生活の重要性が確認された。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問2 次の文は、社会的養護の基盤づくりに関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

家庭養育優先原則に基づき、家庭での養育が困難又は適当でない場合は、養育者の家庭に子どもを迎え入れて養育を行う ( A ) やファミリーホーム ( ( B ) ) を優先するとともに、児童養護施設、乳児院等の施設についても、できる限り小規模かつ地域分散化された家庭的な養育環境の形態 ( ( C ) ) に変えていく。

( D ) とケアワークを適切に組み合わせ、家庭を総合的に支援する仕組みづくりが必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	グループホーム	家庭養護	家庭的養護	ソーシャルワーク
2	グループホーム	家庭的養護	家庭養護	コミュニティワーク
3	里親	家庭養護	家庭的養護	ソーシャルワーク
4	里親	家庭的養護	家庭養護	コミュニティワーク
5	里親	家庭的養護	家庭養護	ソーシャルワーク

問3 次の文は、「乳児院運営指針」（平成24年3月 厚生労働省）に示された乳児院の将来像の一部である。（A）～（D）の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

乳児院は、①乳児について児童相談所から一時保護委託を受け、（A アセスメント）を含めた一時保護を担う機能、②被虐待児・病児・障害児などに対する治療・療育的な（B 専門的）養育機能、③（C 孤立）防止のための保護者支援の機能、④地域の里親やファミリーホームを支援する機能、⑤地域の育児相談やショートステイ、（D デイサービス）などの子育て支援機能を充実させていく。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

問4 次の【Ⅰ群】の社会的養護の支援と【Ⅱ群】のケアに関する説明を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A アドミッションケア
- B リービングケア
- C インケア
- D アフターケア

【Ⅱ群】

- ア 子どもが代替養育から離れる準備期間の支援である。
- イ 子どもが児童相談所に保護された後、代替養育に至る前後の支援である。
- ウ 子どもが代替養育を離れた後に行われる支援である。
- エ 子どもが代替養育に移った後に行われる日常生活全般の支援である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ア | エ | ウ |
| 3 | イ | ウ | エ | ア |
| 4 | エ | イ | ア | ウ |
| 5 | エ | ウ | ア | イ |

問5 次の文は、「社会的養育の推進に向けて」（令和6年2月 こども家庭庁）における里親制度に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 里親は戸籍上の子どもとして里子を受け入れる。
- B 里親が同時に養育する委託児童の上限は5人である。
- C 里親に申し込む動機は、「養子を得たいため」が最も多い。
- D 里親の登録は家庭裁判所で行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	×

問6 次の文は、「社会的養育の推進に向けて」（令和6年2月 こども家庭庁）における里親に支給される手当等に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 里親手当の額は、過去15年間で、おおむね増額傾向にある。
- B 里親には、里親手当に加えて、一般生活費（食費、被服費等）、その他（幼稚園費、教育費、医療費、通院費等）が支給される。
- C 養育里親には、児童1人あたり月額90,000円の里親手当が支給されるが、2人目以降の手当額は、43,000円に減額される。
- D 専門里親には、児童1人あたり月額141,000円の里親手当が支給されるが、2人目からの手当額は、1人目と同額である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	×

問7 次の文は、「フォスタリング業務（里親養育包括支援）」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 里親に関する普及啓発を行う。
- 2 里親の相談に応じ、必要な情報の提供、助言、研修その他の援助を行う。
- 3 里親と乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設又は児童自立支援施設に入所している児童及び里親相互の交流の場を提供する。
- 4 里親の選定及び里親と児童相談所との間の調整を行う。
- 5 里親に委託しようとする児童及びその保護者並びに里親の意見を聴いて、当該児童の養育の内容その他の内閣府令で定める事項について当該児童の養育に関する計画を作成する。

問8 次の文は、「一時保護ガイドライン」（令和4年12月 厚生労働省）の一部である。

（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

一時保護は、子どもの安全の迅速な確保、適切な保護を行い、子どもの心身の状況、置かれている（ A ）などの状況を把握するために行うものであり、虐待を受けた子どもや非行の子ども、養護を必要とする子ども等の最善の利益を守るために行われるものである。しかしながら、子どもの安全確保のみならず、（ B ）も図られる必要があることに加え、子どもの安全確保に重きが置かれ、子ども一人一人の状態に合わせた（ C ）な対応が十分できていないことがあることや、ケアに関する自治体間格差、学校への通学ができないことが多いなど学習権保障の観点からの問題、一時保護期間の（ D ）などの問題が指摘されている。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	立場	権利擁護	治療的	短期化
2	環境	保護者支援	治療的	短期化
3	環境	権利擁護	治療的	長期化
4	立場	保護者支援	個別的	長期化
5	環境	権利擁護	個別的	長期化

問9 次のうち、「身元保証人確保対策事業実施要綱」（令和5年7月 厚生労働省）において、児童養護施設に入所している児童の身元保証人として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 都道府県知事
- 2 施設長
- 3 施設の設置（又は経営）主体の代表者
- 4 措置（又は保護）をした児童相談所の所長
- 5 社会的養護自立支援事業受託事業者の代表者及びその他都道府県等が適当と認めた者

問10 次の文は、「里親委託ガイドライン」（令和3年3月 厚生労働省）における子どもの里親への委託についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 養育里親への委託について、長期委託のほか、数週間や1年以内など短期間の委託など、ニーズに応じた多様な里親委託ができる。
- B 専門里親への委託について、パーマネンシー（恒久的な養育環境）を必要とする子どもを委託することが望ましいとされている。
- C 養子縁組里親への委託について、委託期間は2年以内とされており、期間を超えて養育を継続することはできない。
- D 親族里親への委託について、「民法」による扶養義務があるため、一般生活費等は支給できない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	○	×	×	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○